

2012年4月 大学院国際日本学研究科 開設

「世界の中の日本」を再構築(リデザイン)



国際日本学研究科長(就任予定者)
長谷川文雄 工学博士

明治時代以降日本は、西欧にキャッチアップするため多くのことを海外から学んできました。その過程でいくつかの試練に直面しましたが、20世紀末には経済力・生産力・技術力等、様々な分野で欧米先進国に比肩し、凌駕する分野も現れました。なぜ短期間に世界のトップクラスに躍り出たのかなど、日本人のものの考え方、その背景にある伝統文化や現代文化に関心が寄せられています。クールジャパンなどはその典型でしょう。

しかし時間軸を未来に向けて考えてみると、アジアの周辺諸国を始め新興国が急速に経済発展する一方、日本は高齢化と少子化が同時に進み、今までに経験のない人口減社会に見舞われます。それまでの右肩上がり前提にした社会システムや価値意識等に少なからず影響が起きてくることとなります。さらにグローバル化の進展により、世界の相互依存関係がより緊密になっています。

こうした状況の中で、われわれ自身「世界の中の日本」という、日本の立ち位置を国際的な視点から再確

認し、その上で世界との様々な分野で交流を進め、積極的に相互依存関係を構築していく必要があります。「国際日本学研究科」はまさにこのような問題意識のもとに研究をおこないます。具体的には、本研究科では世界の多様な文化や社会システムを深く理解するとともに日本を理解することを重視します。また、それにとどまらず、その理解に基づいて、自らの意思を言語や様々なメディアを通じて的確に表現し、発信する方法も研究していきます。

国際日本学研究科 概要

名称：国際日本学研究科 国際日本学専攻
課程：修士課程
学位名称：修士(国際日本学) Master of Global Japanese Studies
学生定員：入学定員20名 収容定員40名
授業時間：昼間開講
修業年限：2年
修了要件：30単位以上の単位修得と修士論文
キャンパス：明治大学和泉キャンパス
※2013年4月から新キャンパス(中野キャンパス)に移転することを計画しています。

九つの研究領域

01 視覚文化研究

現在非常に高度な発達を遂げている視覚文化の形成・発展史、それに伴う人々の意識変化やその影響力、可能性等を研究します。

02 ポップカルチャー研究

日本の漫画・アニメ・ゲームなどの海外への訴求力には目覚ましいものがありますが、それらの特性・歴史・発展可能性等について、表現・メディア・社会・制度・産業など多面的な視座から研究します。

03 コンテンツ・メディア研究

グローバルに拡がる情報社会の中で、メディアを通じてさまざまなコンテンツが生成され、消費されています。デジタル化されたコンテンツを中心に、産業の観点から研究するとともに、コンテンツと不可分の関係にあるメディアが果たす役割を多面的に研究します。

04 日本社会システム研究

生産・流通・消費・雇用・政治といったさまざまなシステムの日本における姿を諸外国と比較してその特徴を明らかにするとともに、そのシステムを成立させた背景要因や、そのシステムが生み出す効果を研究します。

05 多文化共生・異文化間教育研究

グローバル化の進展の中で外国人労働者や留学生などが増加することにより、企業あるいは教育機関そして地域社会にさまざまな変化が生じています。その変化に伴う課題と可能性を探ります。

06 日本語学研究・日本語教育学研究

日本文化の基礎である日本語そのものの深い研究を行うとともに、日本語教育に必要な知識と技能を修得することを視野に入れた研究を行います。

07 英語教育学研究

社会言語学、心理言語学、第二言語習得理論、言語活動研究、言語政策研究、メディア研究など、これまで個別に研究が行われていた学問分野の垣根を超え、包括的に英語教育を科学します。

08 文化関係・文化変容研究

国際的あるいは時代的な関係の視点をもって文化を研究します。その際、文化間の違いについて平行比較を行うにとどまらず、文化の交差や衝突や融合などにも注目し、文化の変容がどのように生起しているかを併せて考察します。

09 日本思想研究

世界のさまざまな思想伝統・思想潮流の影響を受けて展開してきた日本の思想を正確に理解するとともに、その独自性を明らかにすることを目指します。

